

# PLIJ STEAM・探究グランプリ

## 応募要領



一般社団法人  
学びのイノベーション・プラットフォーム  
Platform for Learning Innovation - Japan (PLIJ)

## 第3回「PLIJ STEAM・探究グランプリ」応募要領

(一社)学びのイノベーション・プラットフォーム

2026年度に実施する第3回「PLIJ STEAM・探究グランプリ」の応募要領を次のとおり定める。

### 1. 目的

社会の持続的発展のためには、多様な価値創造力を有する未来人材の育成が大事であり、それらの資質を養うSTEAM教育や探究学習を中心とする新たな学びを社会全体で推進し、さらに継続的で横連携したシステムに築き上げていくことが非常に重要である。このため、子どもたちの探究成果そのものを評価する表彰ではなく、その土壌となるべくSTEAM教育や探究学習の充実に資する社会からの貢献活動や社会からの貢献を受け入れるスクールマネジメントなどの優れた活動を担う者を表彰し、その努力を顕彰するとともに、広くその功績を周知・浸透させる。このことにより、社会全体の気運の醸成が加速され、産学官公教の関係主体の一層の参画による学びのシステムが進化することを目指す。未来人材である小学生、中学生、高校生の学びに貢献いただくことは我が国の将来を明るくするものであり、ローカルに実施されていることが国内広域で採用されるならば大きなインパクトとなる。本表彰への応募について、「地域に根差す企業から大企業までの多様な企業」、「経済団体・教育系団体、NPO」、「国及び地方の行政機関」、「大学、高専、学会」、「小中高などの学校」、「国立、公立、民間の研究機関」、「博物館・科学館」「専門家としての個人」等の方々よりご応募頂きたく、貴組織の取組みをレビューしていただきたい。

### 2. 主催・後援

- ▶ 主催 (一社)学びのイノベーション・プラットフォーム
- ▶ 後援 内閣府、文部科学省、経済産業省、日本経済団体連合会、経済同友会、日本商工会議所、朝日新聞社

### 3. 賞の種類

「PLIJ STEAM・探究グランプリ」および「朝日新聞社賞」とする。(ほかにPLIJ STEAM・探究グランプリ特別賞があるが、選考委員会が選定することとされており、応募対象には該当しない。)

### 4. 評価の対象

次の二つの活動を本表彰制度の評価の対象とし、これらに該当する活動の当事者からの応

募により選考を行って、受賞者を選考する。

(1) STEAM 教育、探究学習などの実践を支える社会的なフレームワークに注目し、その成果が顕著なもの

- 産・学・官・公・教が連携(部分的な連携も含む)して新たな学びを支える活動  
(例)STEAM 教育、探究学習に取り組んでいる学校が企業・大学等との協力(出張授業、企業現場や研究室見学受け入れなど)を得て、より広く、深い STEAM 教育・探究学習につながっている活動
- 産・学・官・公・教が連携した地域の教育エコシステムの構築  
(例)STEAM 教育、探究学習の充実のため、地域の産学官公教の主体が、学校のニーズに応じて、それぞれの主体が持てるリソースを学校に提供する地域のフレームワークの運営

(2) STEAM 教育及び探究学習に係わる社会貢献活動やアウトリーチ活動として継続反復する活動

(家庭・学校以外のサードスペースでの活動を含む。)

- 企業、団体が社会貢献活動の一環として新たな学びを支援する活動  
(例)企業や経済団体が方針として学びへの支援を位置づけ、継続反復して、学校や学生・生徒の学びを支援する活動
- 大学、研究機関がアウトリーチ活動として生徒の学びに対して積極的に支援する活動  
(例)大学、高専、研究機関が持てる研究人材や研究設備を生徒に提供し、学校では体験できない研究経験を提供する主催者の組織的プログラム

## 5. 応募資格

学校(小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学等)、研究機関、企業、経済団体、独立行政法人、地方自治体、教育委員会、科学館、博物館、学術団体、NPO 法人等、及びその組み合わせ。

## 6. 選考

PLIJ STEAM・探究グランプリについて、以下の評価基準をもとに事務局で候補リストを作成し、設置予定の選考委員会にて審議の上、最大 10 件の受賞者を決定する。  
後援組織等から交付される賞の選考は、上記受賞者の中から選定する。

評価基準	
活動の有用性	<ul style="list-style-type: none"><li>・従来の学びに比して、活動実施により加えられた学びの価値は何か。</li><li>・生徒の成長が認められる有意な効果があったか</li><li>・学びに貢献する側(企業や大学等)に、たずさわった人材の成長やエンゲージメント向上など、プラスの効果があったか。</li><li>・活動によって、学びを経験した生徒の累積人数等、地域社会の学びにインパクトがあったか</li></ul>
活動における社会連携	<ul style="list-style-type: none"><li>・連携の当事者主体間の主導性と各当事者の役割はどうか。</li><li>・連携を推進するためにどういった工夫を講じているか。</li><li>・当事者主体間で実践の評価を共有しているか。</li></ul>
活動の継続・発展性	<ul style="list-style-type: none"><li>・活動の活動実績(規模、継続期間、頻度)</li><li>・活動継続に関する今後の予定</li><li>・今後どのような発展が期待できるか。</li></ul>
活動の新規性・独自性	<ul style="list-style-type: none"><li>・新規性や独自性のある要素が含まれているか。</li><li>・学びのイノベーションにつながったか。</li></ul>

## 7. スケジュール

- 応募受付 令和 8 年 9 月 1 日～
- 応募締切 令和 8 年 10 月 30 日
- 審査 令和 8 年 11 月～12 月(予定)
- 審査結果公表 令和 9 年 1 月(予定)
- 表彰式 令和 9 年 1 月(予定)

## 8. 応募手続き

### ➤ 提出書類

#### ● エントリーシート(必須)

エントリーシート中の「3. 活動の内容」には、なるべく活動の開始時期とその後の進展、累積対象者数(概数でも可)を記載してください。また、公的資金の支援があるかないか、学びの場と社会の側のそれぞれの貢献、努力、工夫などについて記載してください。

Word 形式

<https://plij.or.jp/docs/Entrysheet PLIJ Award Recruitment 2026.docx>

#### ● エントリーシートの内容を補完する資料(任意)

※事務局まで郵送もしくは e-mail にて提出する。FAX による提出は不可とする。

- 申込締切  
令和8年10月30日 必着
- 応募書類提出先  
〈郵送〉  
〒152-8505 東京都目黒区駒場 4-6-1 東京大学生産技術研究所  
(一社)学びのイノベーション・プラットフォーム  
「PLIJ STEAM・探究グランプリ」 担当者 宛

〈メール〉

[info@plij.or.jp](mailto:info@plij.or.jp)

※添付データが6MB以上になる場合は、問い合わせ先までご連絡ください。  
別途送付方法をご連絡いたします。

## 9. 注意事項

- 提出資料等の返却は行わないものとする。
- 選考過程および選考結果に関する問い合わせには応じないものとする。
- 応募組織名・個人名や活動内容について、新聞・雑誌・当法人サイト等インターネットでの公表に同意するものとする。また報道関係からの取材の際には、応募者に対して協力を依頼することがある。
- 受賞者には、表彰式への出席、および表彰の対象になった活動についての講演をお願いする。また、世の中への発信など、表彰の趣旨である優れた取組みの周知による社会への展開にご協力いただく。  
受賞者が表彰式に参加し、活動内容のご紹介を頂くにあたって代表の方1名の旅費を支給する。

## 10. 個人情報の取り扱いについて

応募者の個人情報は、選考及び運営に必要な範囲内で利用し、第三者へ提供することは一切無いものとする。また応募者の同意なく、利用目的を超えて利用することは無いものとする。

## 11. 問い合わせ先

(一社)学びのイノベーション・プラットフォーム(PLIJ)事務局 担当:井畑  
電話:03-5452-6622(代表) メール:info@plij.or.jp  
法人ホームページ:<https://plij.or.jp/>

以上

第3回「PLIJ STEAM・探究グランプリ」エントリーシート

1. 活動の名称(活動の概要が分かるよう簡潔に30文字以内でご記載ください。)
2. 活動参加組織(複数組織による活動の場合は軸となる組織に※印を付して下さい。)
3. 活動の内容(概要)
<p>(注1)活動の開始時期とその後の進展、累積対象者数、学校の場合は外部からの資金面の支援があれば記載ください。</p> <p>(注2)学校と社会の側からの連携の場合、双方が努力したことについて触れてください。</p>
4. 別紙補足資料の概要(タイトル)

本件に関する連絡先

所属組織、担当者名	
連絡先住所	
電話番号	
メールアドレス	
本表彰制度を知ったきっかけ	

5. 下記評価基準に関連し、活動における具体的な説明、工夫した点等をご記入ください。

有用性:

社会連携:

継続・発展性:

新規性・独自性: